

県内耕地土壌における亜鉛、銅濃度の実態

福島県農業総合センター 生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

農業環境 - 農業環境 - 土壌改良・土作り
分類コード 11-01-10000000

2 担当者

松波寿弥・三浦吉則

3 要旨

県内耕地土壌中の亜鉛、銅の賦存量を明らかにした。

- (1) 県内耕地土壌の亜鉛、銅濃度の中央値はそれぞれ83.5、21.9ppmであった。これは全国の耕地の重金属バックグラウンド値(亜鉛;87.8ppm、銅;30.2ppm)とほぼ同等、あるいはやや低い値である。
- (2) 亜鉛については調査地点の9.5%で管理基準値超過が認められた(管理基準値120ppm)。水田では会津地域をのぞき亜鉛の管理基準値を超える地点は認められない。一方、畑地や樹園地では管理基準値超過率が22～46%と高い。
- (3) 銅濃度は樹園地 > 普通畑 > 水田の順で高く、規制対象となる水田では基準値超過は認められない。
- (4) 耕地への資材施用の際の参考資料とする。

4 その他の資料等

Yamazaki *et al.*, : Background levels of trace and ultratrace elements in soils of Japan. *Soil Sci. Plant Nutr.*, **47**, 755-765 (2001)